

感染症とコンピュータ創薬

日時 平成26年12月5日(金) 10:30～17:50
場所 NEC本社ビル(田町) / 地下1階 多目的ホール
参加費 無料
申込み <http://www.ipab.org/eventschedule/registration>
主催 特定非営利活動法人並列生物情報処理イニシアティブ(IPAB)

プログラム

- 10:30～10:40 開会挨拶 秋山 泰 (東京工業大学、IPAB 理事長)
- 10:40～11:15 IPAB コンテスト 実施報告・次回予告 関嶋政和 (東京工業大学、IPAB 理事)
- 11:15～12:00 「計算生物学による創薬を目指して」
水口賢司 (医薬基盤研究所)
- 12:00～13:30 ランチ
- 13:30～14:25 基調講演 「コンピューターでインフルエンザウイルスの変異を予測する」
伊藤公人 (北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター)
- 14:25～15:10 「パンデミックのシミュレーション:ribmのご紹介」
大日康史 (国立感染症研究所感染症疫学センター)
- 15:10～15:25 休憩
- 15:25～16:05 パネルディスカッション「IPABの15年間、そして未来へ」
小長谷明彦 (東京工業大学)
土肥 俊 (日本電気(株))
秋山 泰 (東京工業大学、IPAB 理事長)
小西史一 (東京工業大学、IPAB 理事)
西 克也 (株)ベストシステムズ、IPAB 理事)
- 16:05～16:20 休憩
- 16:20～17:05 「インシリコ創薬技術による創薬支援事例の紹介」
広川貴次 (産業技術総合研究所、IPAB 理事)
- 17:05～17:50 「質問応答システム Watson の医療応用」
武田浩一 (日本アイ・ビー・エム(株) 東京基礎研究所)
- 18:00～ 懇親会